

就労準備支援事業 「くる me ここから」 お便り

発行：令和3年10月1日【No.8】



9月16日（木）プログラム

一智段結

「1枚の紙に自分の想いをのせてみよう」

くる me メンバーの

「一」人ひとりの

「智」恵が地層の如く

「段」になって重なり

「結」び形作られていく



参加者の K さんが今回の活動に関する企画書を作成し、上記の素敵なテーマを考えてくれました♪
みんなが安心して参加できる場になるように・・・との想いを込めて、くる me ここからの活動に主体的に参加して下さる姿にスタッフ一同感動しました。

さらに強力な応援者が！！
東御市役所 福祉課 家庭児童相談員の齋藤清子さんにプログラムの進行や促進など全面的にバックアップいただきました。準備から当日まで手厚いサポートを本当にありがとうございました。

参加者の声

- ◇自分が好きなものを描くなかで昔の楽しかった記憶が呼び起こされました。
- ◇1枚の真っ白な紙からこのような作品が生まれ、嬉しさとともに驚いています。
- ◇皆さんの発想がとても豊かで素晴らしいなと感動しました。
- ◇最初は緊張しましたが、夢中になって取り組みました。楽しかった！

編集後記：朝晩と寒い日が増えてきました。夏の冷麺や冷やし中華も美味しかったですが寒い日に食べるアツアツのラーメンも今から楽しみにしています。福祉センターの近くにも毎年生姜と味噌のラーメンを期間限定で出すラーメン屋さんがあるので今からとても楽しみにしています。昨年かなかなか外食をする機会が減っており寂しい気持ちもありますが、感染症対策をしっかりと少しずつラーメン屋巡りを再開したいと思います。みなさんのおすすめのお店があれば是非教えてください！PS.スタッフ H さんはこの前、山で担々麺を食べてきたそうです。（スタッフ Y）



第9回の「くる me ここから」では、表現を楽しむ会として協同制作活動を行いました。真っ白な紙に、ひとりずつ順番に思いのままに描いていきます。描くといっても絵に限定せず、好きな言葉を書いたり、お気に入りの切り抜きを貼ったり、表現の方法はさまざまです。結果的に皆さんの気持ちが融合した素敵な作品が生まれ出されました。一人ひとりの個性が表出され、お互いに新たな一面を共有できた時間となりました。

最後に自分が描くときに感じた気持ち、他の方が描いている様子を見て感じた心の動きなどをシェアして終了となりました。参加された皆さま、大変お疲れさまでした。